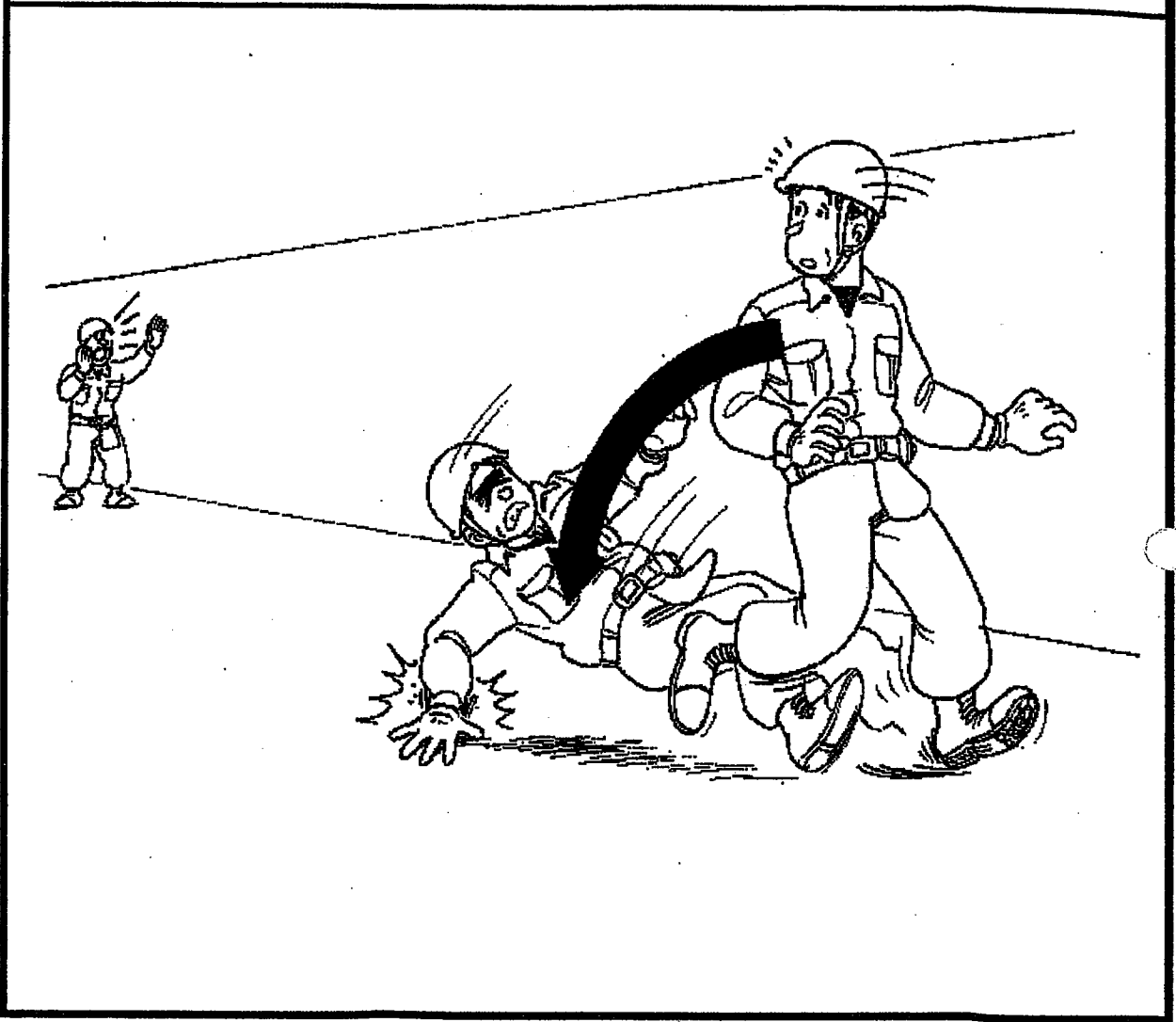
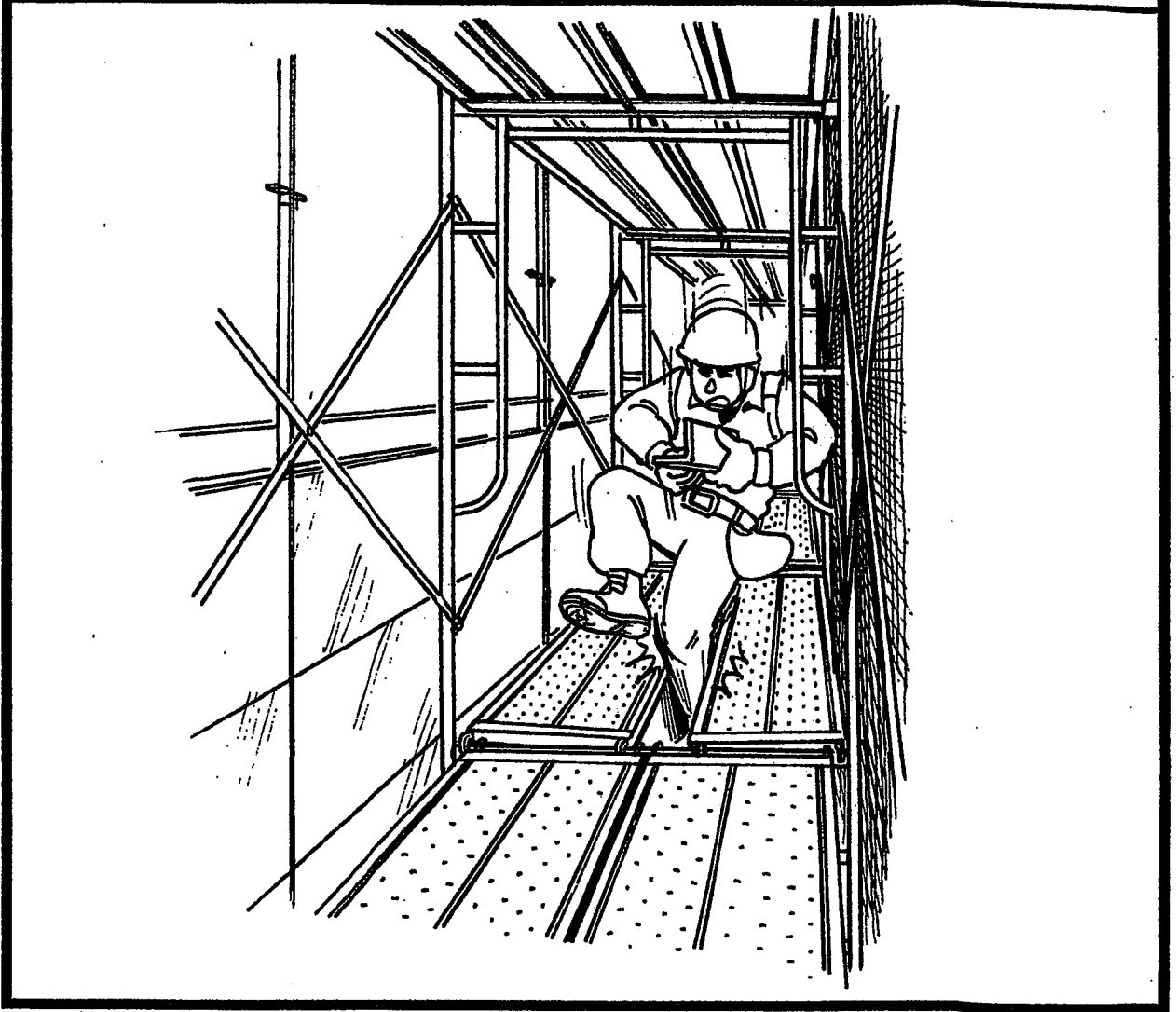


声をかけられ振りむき、足が滑って転倒



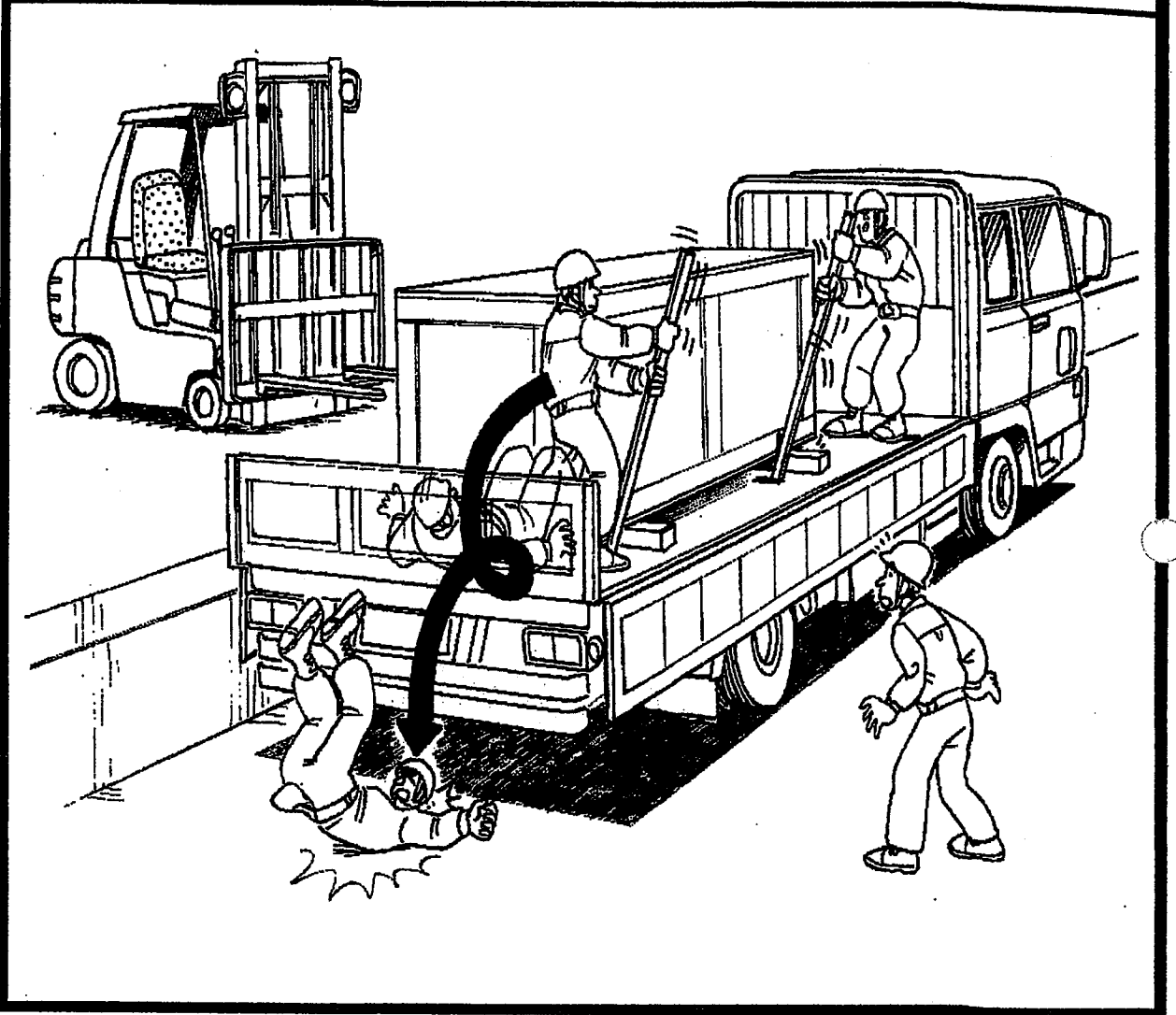
建築	工種: その他(仕上)工事	事故の型: 転倒
事故の分類	発生日時・天候: 2001.1.29 (月) 9:00 晴	起因物: 声
	被災内容: 右手首骨折	損失日数: 11日
	職種: 防水工	職 種: 防水工
事故の発生状況	経 験: 19年0ヵ月	年 齢: 50才(男)
	請負関係: 3次	
	発生状況	作業場所を歩行中、後ろから声をかけられて振りむいた際、左足が滑ってバランスを崩し右手をついた。その際手に体重がかかり手首を骨折した。
	原因	
対策		

足場上を歩行中、布板の隙間に足を取られ膝を負傷



建築	工種:ブロック・レンガ工事	事故の型:転倒
事故の分類	発生日時・天候:2000. 7. 3(月) 11:00 晴	起因物 : 枠組足場
	被災内容:左膝靭帯損傷	損失日数:11日
	職 種 : 組積工(ALC)	請負関係:2次
	経 験:1年0ヵ月	年 齢:23才(男)
事故の発生状況	発生状況	被災者は外壁ALC取付作業中、荷重受けのアンクルピース(50×50×4 L=100)を持って足場を歩いていた際、布板の隙間に足を取られて踏み外し、左膝内側を損傷した。
	原因	・布板と布板の間に隙間(9cm)があった。
	対策	・布板が開かぬよう結束を行う。日常点検を確実にを行う。(隙間は3cm以下)

鋼製建具部材荷取り作業中、トラック荷台より転落（死亡災害）



建築	工種:金属建具工事		事故の型:墜落・転落
事故の分類	発生日時・天候:2000. 6. 10(土) 9:10 曇		起因物 :トラック
	被災内容:頸椎損傷	損失日数:7,500日	職種 :建具工
	経 験:21年0ヵ月	年 齢:62才(男)	請負関係:3次
事故の発生状況	発生状況	被災者はトラック荷台から部材(650kg)の荷取り作業中、部材を角材を用いて移動させていたところ、荷台から転落し、死亡した。	
	原因	・被災者は荷台上で重量物を移動させようとした。	
	対策	・荷台上では無理な作業はしない。	

3 仕上工事 1-2-2

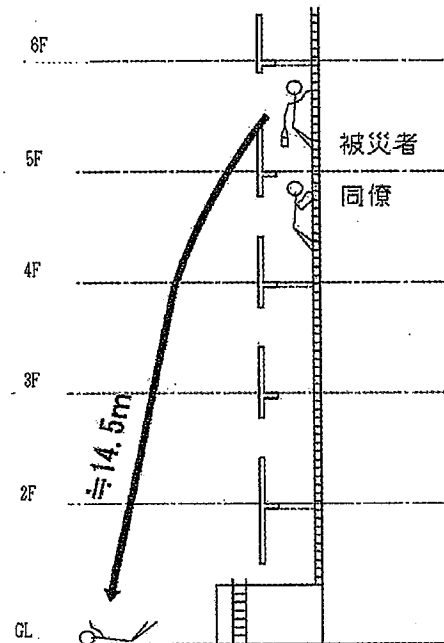
2008 年災害事例による安全衛生教育資料

—作業標準に基づいたKYの実施— (第2版)

NO	区分	作業の種類	事故型	傷病程度	年齢	所属
1	建築	バルコニー防水補修	墜落 (高さ 14.5m)	死亡	41才	3次

発生の状況

ビル改修工事において、避難バルコニーの防水工事に従事、9階バルコニーの防水補修を行うために、同僚と2名で地上から2階バルコニーへアルミ梯子を掛けて上り、2階バルコニーから9階へ向けて既設の避難用タラップを昇っていた途中、5階～6階のタラップ上からベランダを越えて地上に墜落したと思われる。この時、同僚は下階タラップにいた。(被災者は150Φ、250Φの缶を片手に持ってタラップを昇っていた)

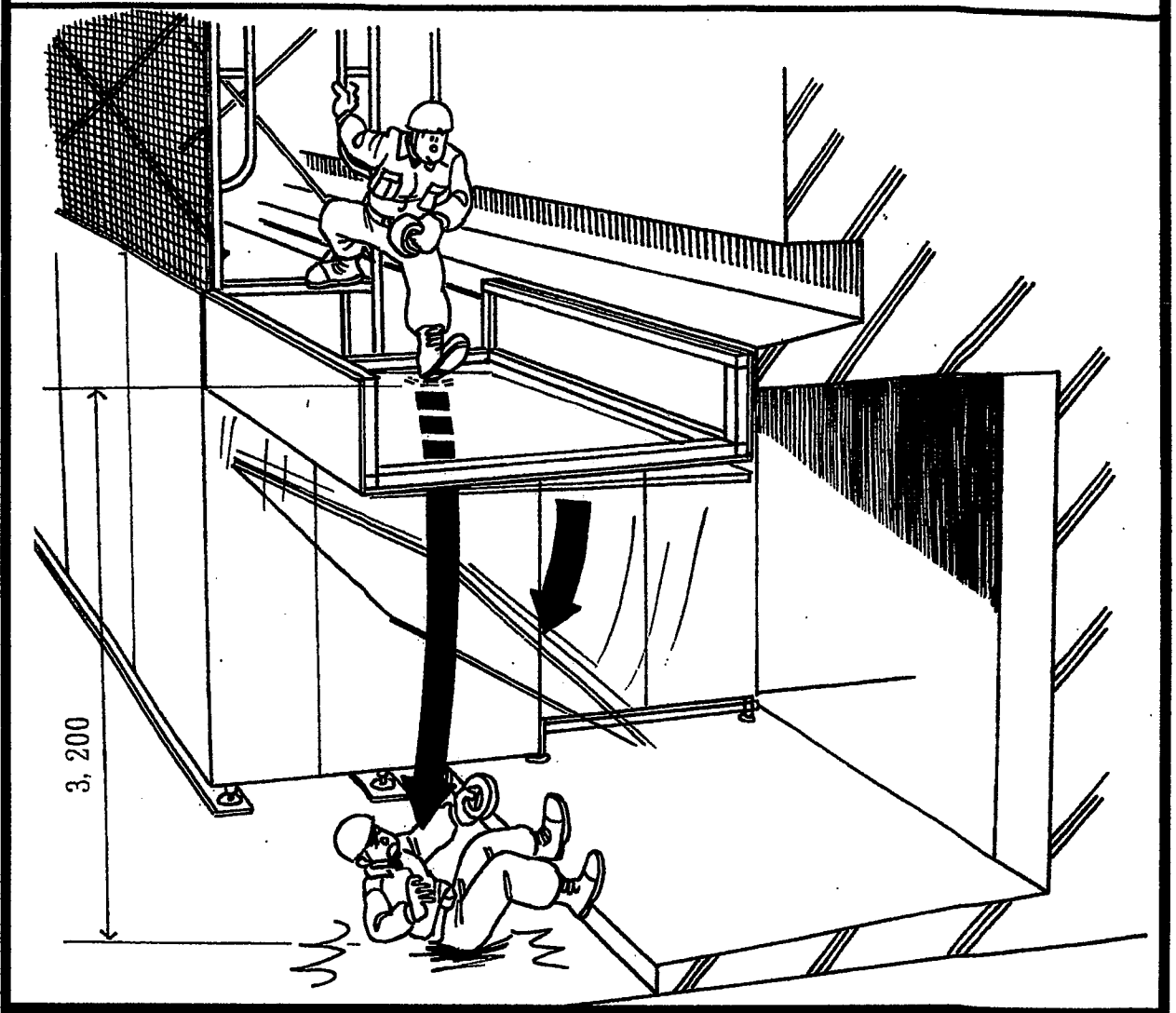


—TAISEIOHSMS 作業標準—

NO	作業の順序	どんな危険があるか (予想される災害)	評価	私たちはこうする (防止対策)	誰が
	1) 準備作業 ※作業通路の確保、確認 ・タラップの使用	・タラップ昇降時の墜落	●	・安全ブロックを使用する (安全帯D環に取付ける) ・手に物を持って昇降しない	作業者
リ	高い	●●●●	5	<コメント> ◆ バルコニー、屋上等の作業は外部足場設置期間中に完成させること。 ◆ 職長(安責者)、作業の責任者は、下記を徹底して実施状況を確認すること。 ・タラップを使って9階まで昇るような「ムリな作業指示」は避ける! ・作業のスケジュール・手順を明確にして全員に確実に周知する。 ・作業前の現地作業手順KYを徹底して再確認させる。 ※ 昇降路にタラップを使用させる時は、次の2点を徹底すること。 ① 安全ブロックの設置を先行する。 ② 資材の荷揚げ方法を決定して全員に確認させる。	
ス	やや高い	●●●	4		
ク	中	●●	3		
評	やや低い	●●	2		
価	低い	●	1		

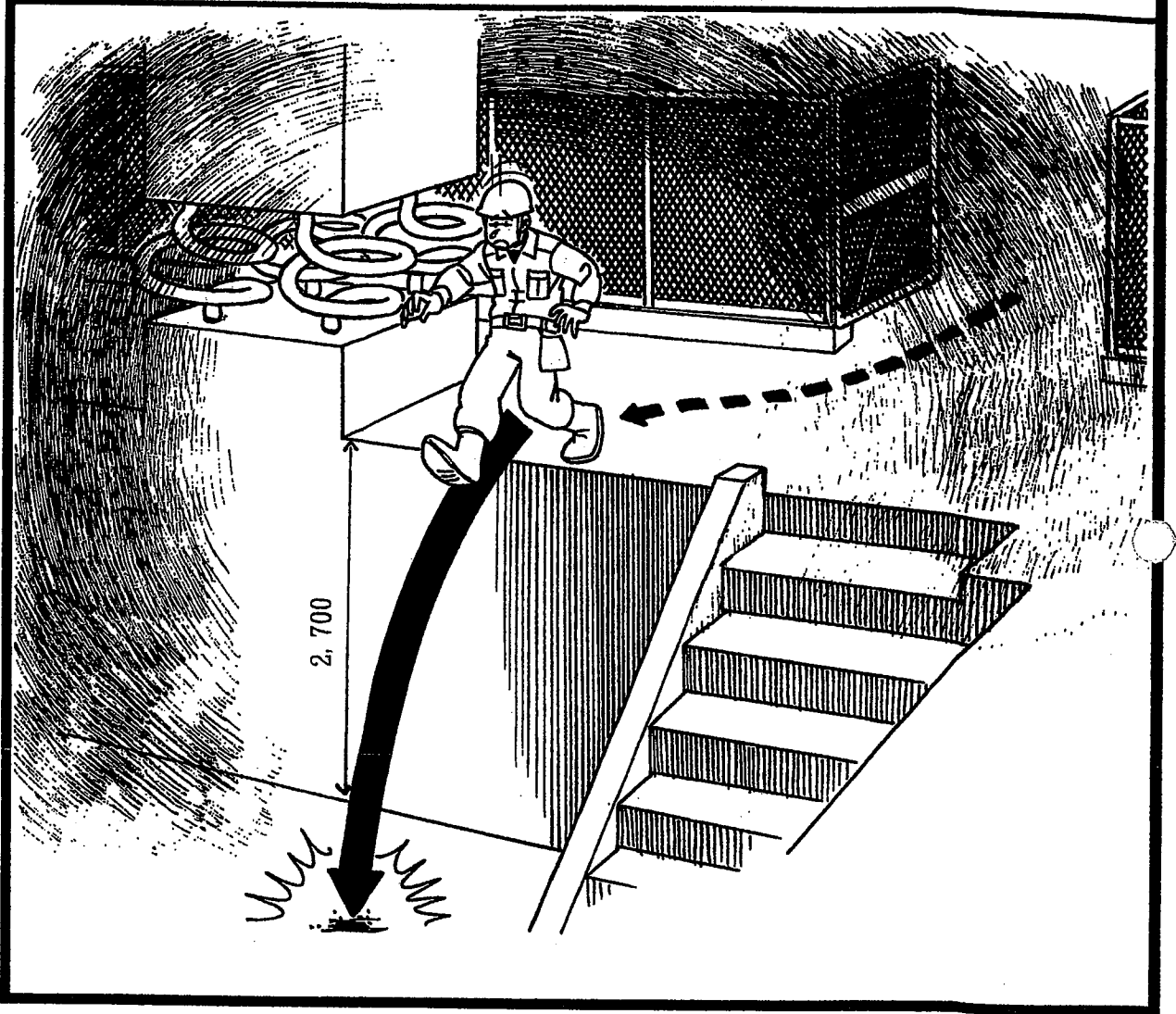
※ は、本災害発生に伴う追加事項

足場外の梁化粧養生用コンパネに乗り墜落



建築	工種: 塗装工事	事故の型: 墜落・転落
事故の分類	発生日時・天候: 2000. 8. 4(金) 15:45 晴	起因物 : 其他開口部
	被災内容: 骨盤部骨折	損失日数: 49日
	職 種 : 塗装工	請負関係: 2次
事故の発生状況	経 験: 20年0ヵ月	年 齢: 37才(男)
	発生状況	既存外壁カーテンウォール部の塗装改修工事において、塗装境界部分に養生用ビニールシートを貼り付ける作業中、軒先部(地上3.2m)で化粧養生用のコンパネに乗ったところ、コンパネとともに墜落し腰を負傷した。
	原因	・立入り禁止措置を行わなかった。
	対策	・確実に立入り禁止措置を行う。

照明不足によりコンクリートスラブ端部より墜落



建築	工種:雑工事	事故の型:墜落・転落
事故の分類	発生日時・天候:2000. 7. 24(月) 9:05 晴	起因物 :コンクリートスラブ
	被災内容:足腰打撲胸椎圧迫	損失日数:17日
	職 種 :土工	請負関係:2次
事故の発生状況	経 験:8年6ヵ月	年 齢:41才(男)
	発生状況	被災者は免震装置の隙間を測定しようとし、床がまだ続いていると勘違いし免震装置のあるコンクリートスラブより1段下のコンクリートスラブへ2.7m転落し負傷した。
	原因	・スラブ端部の養生がなかった。 ・照明が不足していた。
	対策	・スラブ端部には必ず親網・手すりを設ける。 ・必ず作業を行うのに必要な照度を確保してから作業を行う。